



八頭町人権教育推進協議会 企業・職域部会主催

企業代表者および人権啓発推進員研修会を開催しました



『多様な人材が活躍できる職場環境づくりに向けて』 ～ジェンダーを通して性の多様性について考える～

講師 鳥取県男女共同参画センター「よりん彩」
男女共同参画推進コーディネーター 澤田 真美さん

5つの観点

- ①自分の頭で思っている性 (Gender Identity)
- ②表現したい性 (Gender Expression)
- ③生物学的な性 (Biological Sex)
- ④性的に惹かれる性 (Sexually Attracted to)
- ⑤心が惹かれる性 (Romantically Attracted to)

「ジェンダーブレッドパーソン」とは、国際的に主流となつている性について理解を深めるためのツールです。性を考えるうえで5つの観点が書かれており、性のあり方は人それぞれ違つておることがイメージしやすくなります。

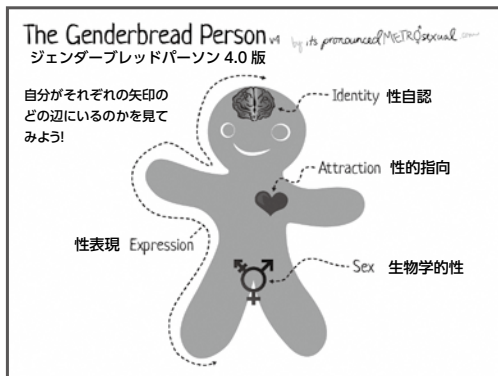
多様な性を図解した「ジェンダーブレッドパーソン」

八頭町人権教育推進協議会企業・職域部会の賛同企業代表および人権啓発推進員を対象とした研修会が、10月26日(木)に八頭町中央公民館で開催されました。研修には約20名が参加。講師に鳥取県男女共同参画センター「よりん彩」男女共同参画推進コーディネーターの澤田真美さんを迎えて、性の多様性に関する知識や人権に配慮された企業の取り組みのポイントについて講演いただきました。

実例として、ある女性がマンションを賃貸と不動産屋に行ったが相手にされず、後日、男性パートナーと一緒にいくと、そちらばかりを見て話をされたという話があります。「大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい」という勝手な思い込みは、企業側も顧客側も損をすることになりうるのです。

ジェンダーとは、社会的・文化的に構成された性差のことで、社会や時代によって変化するものです。「男は〇〇、女は〇〇」という役割分担意識や知らないうちの刷り込みは、アンコンシャスバイアス(無意識の思い込み、偏見)として、私たちの考え方に影響を与えます。

ジェンダーとアンコンシャスバイアス



【図】ジェンダーブレッドパーソン 誰もが多様な性の当事者

態度や行動を変えてみよう

性的マイノリティ当事者は、「家族」「好きな人の話」「結婚」の話題が一番しんどいと言われる人もいます。好きな人について尋ねるときは、「彼氏/彼女できた?」ではなく、「好きな人できた?」「パートナーできた?」と表現を変えるだけで随分と変わります。

また、就職の際に見た目や服装で性別を確認されたり、怪訝な顔をされることで悩む人もいます。体と性自認の不一致があると就職が難しいこともあります。どのような性であっても誰もが参画できる社会のためには、自分が思っている当たり前について立ち止まって考えること、対話をする事、そして、相手を人として尊重し、「人権」を基礎に据えた職場づくりに取り組むことが重要です。



熱心に話を聞く参加者



ご存知ですか!?

CSRと人権

CSRとは「Corporate（コーポレート）Social（ソーシャル）Responsibility（レスポンシビリティ）」を略した言葉で、「企業の社会的責任」と訳されます。企業活動に対して、環境や次世代への配慮などを実践し、顧客・従業員・株主・地域社会などの利害関係者（企業活動をしたときに影響を受ける関係者のすべて）に対して責任ある行動を取るとともに、説明責任を果たしていくことを求める考え方です。日本では、約20年前から広く浸透してきました。

CSRに関しては、国際的な指標として「ISO26000」が定められています。そこで示されている7つの原則の中には「重要かつ普遍的である人権を尊重する」と「掲げられています。人権を守る」ために個人と組織両方の意識と行動が必要であり、直接的な人権侵害だけではなく、間接的な影響にも配慮して改善することが重要とされています。人権意識を日々の業務に反映させ、あらゆる人々に配慮した企業活動の展開が求められるようになっていきます。

町内の企業・事業所の取り組み

八頭町人権教育推進協議会の企業・職域部では、八頭町内の企業や事業所と共に、人権を配慮する働きやすい職場づくりや明るい地域社会の実現を目指しています。現在、87社の企業等が趣旨に賛同し、部会で作成した人権啓発物品の活用、人権啓発リボンの着用運動、企業内研修の推進などを行っています。

ますます重要視されていく人権を尊重した企業活動と働き方について、一緒に考えてみませんか？

ページID 0007355

賛同企業等を募集中!



企業・職域部の紹介と賛同申込書はこちらから

賛同企業の車両に貼ってあるよ!



啓発物品（マグネット）

人権研修について
お悩みがあれば
ご相談ください!



町内の企業や事業所、団体の方で「人権研修をやってみたいが、どんな内容にすればいいのかわからない」「自分たちだけで研修をするのが難しい」とお悩みのときは、人権教育推進員にご相談ください。講師や内容などについて一緒に考えます。

また、人権に関するDVDも多数ありますので、貸し出しについてもお気軽にお問い合わせください。

人権推進課 84-1228



人権に関するDVDなど

人権教育推進員が関わった最近の研修事例

● 林業Y社 65分 参加者57名

人権研修の内容について相談があり、DVD視聴とワークショップを提案しました。当日は必要な物品を揃えて進行役として参加しました。

事業者の声

「朝早くから対応してもらい助かりました。ワークショップが思った以上に盛り上がり、有意義な研修となりました」

● 交通業J社 60分 参加者3名

少人数の研修になるため、人権教育推進員も参加してほしいと要望があり、DVDを一緒に視聴し、意見交換をしました。

事業者の声

「家庭内においても人権があることが再認識できた研修会でした。今後もこのような研修を通して、人権について学習したいです」

● コミュニティ施設H社と地域福祉団体H委員会 45分 参加者32名

研修を勧めたところ賛同され、伺いました。DVDを視聴してアンケートを実施しました。

参加者の声

「高齢者の集いの場において、研修会を開催してもらい良かったです。今後も続けてほしいです」